



若小便り



若松小HP用QRコード

令和3年度 若松小学校便り第1号 令和3年4月22日(木) <http://wakamatu.lolitapunk.jp/>

【重点教育目標】 自尊感情を高め、自ら学び、考え、行動する子供の育成

最後の1年/ *The Last Waltz : by The Band 1978*

校長 本谷 弘之

『さあ何かが変わる そんな時代が好きなら

さあそのスイッチを 少し昔に廻せば

鹿鳴館では夜ごとの ワルツのテンポで今宵も♪』

(抜粋引用「タイムマシンにおねがい」サディスティック・ミカ・バンド)

歌詞の中に出てくる「鹿鳴館」とは、今から約200年前に外国との社交場として建設され使用されていた建物です。日本が文明国であることを示そうと西欧人を招いて祝宴を開いてはみたものの、実際には、当時の日本人はそのような場でのマナーやエチケットを身につけた人はほとんどいなく、ダンスも踊れない、服も着こなせないなど、毎夜開かれる舞踏会で西欧人の失笑をかっていたという話が伝わっています。しかし、このような思い切った行動がなければ、日本の文明開化の歩みは遅れていたのでは？

昨年度（正確には一昨年暮れ）から、新型コロナウイルス感染症という未知のウィルスの感染症拡大を防ぐため、各国では様々な対策がとられ、決定的な対策は未だにみつかっていません。それでも、感染を広げないための取組は、少なくとも学校現場では功を奏していたのではないのでしょうか。それが昨年度一年間での大きな成果であり、これからの時代における様々な行事の工夫が見られた年でした（詳細はこれまでの学校便りやHPで紹介済）。

タイムマシンで昔に戻らなくとも、「何かが変わる そんな時代」の始まりを経験した一年でした。

4月6日（火）、入学式こそありませんでしたが、在校生5人が元気に登校し、令和3年度の若松小学校の教育活動がスタートしました。同時に、このスタートは、若松小学校最後の1年のスタートでもあります。まだまだコロナ禍ではありますが、様々な活動に感染症対策や制約が伴いますが、昨年度の経験を生かして、極小規模という、今の時代では最大のメリットを生かした、子どもたちとの思い出多い「最後の」年にしていこうと様々な取組を考えているところです。

子どもたち全員が「若松小学校に通えてよかった」と、思ってもらえるよう、職員一同これまで以上に全力で子どもたちの健やかな成長のため、力を尽くしてまいりますので、今年度も皆様のご支援・ご理解・ご協力を、どうぞよろしくお願い致します。



※The Last Waltzは、1967年から1976年まで活動したアメリカのロック・バンド、ザ・バンドの解散コンサートを記録した1978年に発売され、映画にもなったもの。ザ・バンドは、当時の有名ミュージシャンのサポートも務めていました。そのため、解散コンサートには多くの大物ミュージシャンがゲスト参加した。コンサート前の1時間はワルツを踊り、豪華なディナーもあったといわれています。まるで「タイムマシンにおねがい」に出てくる「鹿鳴館」の一夜のようなのではないのでしょうか。

令和3年度学校経営方針の説明(第1回)

4月に入り、「今年は春が早そう」と思っていたのに、子どもたちの学校生活が始まった矢先の降雪。すぐに解けてしまいましたが、これには驚かされました。天候の面では、近年毎年のように「記録史上初」や「異例の」という言葉が聞かれます。実は天候の面ではすでに予測困難な社会に突入していたのかもしれないね。そんな令和3年度の始まりを迎えた、今年度の学校経営方針について説明します。重点教育目標は、さらに高みを目指したいとの学校評価を受け、昨年度と同じ目標を掲げました。

重点教育目標 自尊感情を高め、 自ら学び、考え、行動する子どもの育成

4月当初に各家庭に配付された、北海道、北海道教育委員会、北海道 PTA 連合会の連名で出されたリーフレット「北海道の子どもたちの健やかな成長を願って」にも、「子どもの学習意欲を高めるために」家族とともに作りたい環境の一つに「**自尊意識・規範意識**」があげられていました。

「自尊感情を高める」とは、

自分ができることだけでなく、できないことも含めて自分をありのままに受け止め、向上心を持たせようとのねらいがあります。自分をかけがいのない存在、価値のある存在としてとらえることで、自信ややる気を育て、自分の命を大切にしようという意識につなげていくことで、他人を丸ごと受け止める気持ちを持ち、円滑なコミュニケーション能力にも結びつけていきたいと願っています。この自尊感情が高い子は、規範意識も高いという調査結果も出ています。

「自ら学び、考え、行動する」とは、

ざっくりいうと今後の予測困難な社会を生き抜くための力です。物事をじっくりと考え、根拠をもとに判断し、相手にわかりやすく伝える力を身につけることで、他者と協働し、1人では生み出せないアイデアを創り出す能力が、これからの時代には求められています。そこで、行動に移すために何を学ばなければいけないのか、と学ぶ意欲を持つことで、サイクルができあがります。昨年度は、学習面で働きかけてきましたが、今年度は、学校生活全般で常に既習事項をもとに考える場を設け、行動にうつす場面設定をしていきます。

この重点教育目標達成のため、校長が職員に提示した経営方針の序論を記して、次回に繋げましょう。

学校は、学校教育目標の達成をめざし、全教職員が同一歩調で協働して教育活動を行う場であり、課題や問題の解決には組織として対応することを基本とする。そのためには、「報告・連絡・相談・確認」が極めて重要であり、課題や問題を一人で抱え込まず、解決に向けて協働体制をとることが重要となる。特に令和3年度は、閉校前最後の一年であり、近年初めての教頭不在の一年である。全職員が学校を代表する者としての自覚を持ちつつ、お互いにフォローし合いながらチーム若松小学校を、より強固な絆で紡いでいきたい。

着任式・始業式

4月6日（火）は、子どもたちにとって令和3年度の初日です。この日は、全校児童5人がホールに集っての一斉ホームルームからスタートし、体育館で着任式と始業式を行いました。始業式や終業式はふだんはホールで行うのですが、今年度は入学式もなく、まして若松小学校最後の年度。ということで、卒業式の紅白幕を片づけずにおき、体育館で気持ちを引き締めて行うこととしました。



まずは、着任式。今年度は、H先生が音楽の技芸講師として、藤井さんが閉校式が終わるまでの閉校と学校事務の担当として、子どもたちと対面しました。H先生は、昨年度の地域学習発表参観日で全校器楽演奏のアンコールに飛び入り参加でピアノを弾いていただいたので、ご存知の方も多いでしょう。また、Fさんは学校事務の経験と、何校もの閉校業務の経験者として頼れる方です。2人の挨拶の後、児童会長のU. Y. さんが歓迎の言葉を堂々と述べてくれました。

続いての始業式。人数が少ないので体育館は広々と使えます。ということで、始業式では、子どもたちが校歌を歌いました。「年度始めて久しぶりに集まったから、声も出しづらいただろうな。」との思いをよそに、とても力強くきれいな歌声が響いています。「音楽室で録音した歌声を流しているのかな？」と確かめに子どもたちのそばに近づいてみると、きちんと子どもたち自身の声で歌っていました（みんな、疑ってごめんなさい）。そんな子どもたちの顔を見て、校長挨拶ではこんなことを話しました。

「自分のいいところも悪いところも含めて自分なんだと受け入れて自分を好きになりましょう。そして、自分にも長所や短所があるように、周りの人、子どもにも大人にも同じように長所や短所があることを理解して受け入れてください。それが、今後、北檜山小学校や中学校に行ったときの友だち作りに、そして、社会に出たときの仲間作りに役に立ちます。もう一つ、昨年度も頑張った挨拶や返事の仕方を、もっと頑張ってコミュニケーションをしっかりと取れるようにしていきましょう。そして、楽しい事や嬉しいだけでなく、辛いことや悩み事も含めて思い出の多い一年にしましょう。」（一部抜粋）

この後、子どもたちは今年度の抱負をお話してくれました。せっかく子どもたちがしっかり話しているのに、大人が何もしないわけにはいきません。ということで、急きょ教職員も全員、子どもたちの前で新年度の抱負を話してもらうことにしました。「その場に応じた話しができるように」と、昨年度から指導している先生方が、その場で話しを振られて話せないのはおかしいですね。ここら辺の詳細については、ホームページにアップしてありますので、そちらをご覧ください。

今年度も、子どもたちのコミュニケーション能力育成のため、子どもと職員とのスリリングなやり取りの場面も増やしていきたいものです。



令和3年度の教職員紹介

今年度はこのメンバーでよろしくお
願いします。



本谷 弘之
(校長)



A. S.
(2・3年担任)



M. N.
(5・6年担任)



B. K.
(公務補)



M. A.
(英語指導助手)



M. H.
(スクールヘルスリーダー)

図書支援員
のHさんも1
ヶ月に一度応
援に来て下さ
います。



H. K. (音楽技芸講師)

全校音楽のお手伝いをいたします原香織です。昨年12月に「見上げてごらん夜の星を」と、「ふるさと」の伴奏をする機会をいただき、それ以来、若松小で音楽をやりたいなあという気持ちが高まっていました。小学校の音楽を担当するのは、若小が6校目です。これまでの経験をいかして頑張りたいと思います。また、行事などにも出来るだけ参加したいと考えてます。お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします



F. N. (閉校業務・学校事務)

この度、若松小学校で臨時事務職員として勤務させていただくことになりました。北檜山小学校を定年退職し、その2年後に馬場川小学校で閉校のお手伝いをさせていただきました。ご縁があり、再び学校の閉校式に関わることとなりました。120年という歴史ある学校の幕が閉じることはとても寂しい限りですが、若松小学校の元気な5人の子どもたち、先生方、そして地域の方々とともに輝かしい歴史を残す一助となれるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

5月の行事予定

日	曜	行事予定	バス	日	曜	行事予定	バス
1	土			17	月		14:40
2	日			18	火		14:40
3	月	憲法記念日		19	水	児童会・委員会(業間)、スベ水	14:40
4	火	みどりの日		20	木		14:40
5	水	こどもの日		21	金		14:40
6	木	全校集会(業間)	14:40	22	土		
7	金	知能検査(3・5年)	14:40	23	日		
8	土			24	月		14:40
9	日			25	火	歯科検診	14:40
10	月		14:40	26	水	児童会・委員会(業間)	14:40
11	火		14:40	27	木	全国学力・学習状況調査(6年)	14:40
12	水	児童会・委員会(業間)	14:40	28	金	農業センター①	14:40
13	木		14:40	29	土		14:40
14	金		14:40	30	日		
15	土			31	月		
16	日						